

第1回 まちづくり広報関係者交流会 開催

10月10日 於：タウンセンターマロニエ 主催：市) 地域政策課

市内“まちづくり委員会”の広報担当者や、その関係者による第1回交流会が上記にて開催されました。この交流会は、かねてより他地域の広報活動や広報紙作成の状況を知り、更なる紙面のレベルアップを図るための交流機会を要請してきて、今回初めて地域政策課が企画し開催の運びとなりました。

9地域の広報担当者27名、市職員8名の計35名が出席し、活動状況や課題などの意見交換をしました。

第一部では広報広聴課<鶴井主事>より、「広報紙のつくり方講座」として ①広報紙発行の目的を考える ②年間としての企画を考える ③見やすい・読んでもらえる紙面づくりなどを具体的に指導いただきました。

第二部では各地域広報担当者がグループごとに分かれ、各広報紙の作成で特に配慮している点や苦労話を紹介しあい、地域ごとの特徴や環境などを理解し共に学びあいました。

私たちの広報紙は、地域の住みやすい環境をつくり上げていく、重要な役割の一つである事を再度認識しました。



マロニエ集会室にて



講師：広報広聴課/ 鶴井主事



グループごとの意見・交流

平成30年度 富水地区自治会連合会視察研修



富水地区自治会連合会視察研修は、11月4日・5日に長野県木曾町を訪問しました。

木曾町は平成17年に木曾福島町・日義村・開田村・三岳村の4町村が合併して誕生し、世帯数は4,949世帯（富水の自治会加入世帯は4,598世帯）・総面積は476.03km²（小田原市は113.81km²）で小田原市の約4倍の面積に富水の人口が暮らしている。合併後の18年に「木曾町まちづくり条例」「地域自治組織」「地域まちづくり計画」を制定した。

「木曾町まちづくり条例」とは？

○住民参加のまちづくりを実現する ○まちづくりの基本方針や自治の仕組みを定めた町の最高規範
○住民が主役となる自治を実現し、地域の発展へつなげる ○住民、議会、行政それぞれの役割や責務を明記
住民は、町の将来に責任を持ち、まちづくりへの参加が自治を守り、進めることを自覚して、積極的にまちづくりに参加し、権利を有すると同時に、責務を持つ。